**第１学年３組　国語科学習指導案**

**１　単元名**　　ことばを　たのしもう（伝国②）

**２　本時の学習指導**

（１）ねらい

　早口言葉に興味をもち、友だちと言い合う楽しさを感じる。

（２）

評価基準

|  |  |
| --- | --- |
| 【関心・意欲・態度】 | 【言語】 |
| 言葉遊びを楽しんだり、早口言葉に進んで挑戦しようとしたりしている。 | 言葉遊びや早口言葉を通して、拗音、促音、長音を除けば、1文字が1音節（拍）に対応するということに気付いている。 |

（３）展開

準備物　早口言葉プリント1枚

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習活動 | 学習内容 | 指導と評価の創意工夫 | 時間 |
| １　本時の学習課題を掴む。  【かだい】  はやくちことばにちょうせんしよう。  ２　早口言葉を皆で音読する。  ３　早口言葉の練習をする。  ４　言いにくい言葉や教科書に載っている以外の早口言葉を挙げる。  ５　自分で早口言葉を作ってみる。  ６　隣の人の作った早口言葉に挑戦してみる。  ７　難しかった早口言葉を発表する。 | * 本時の学習課題 * 早口言葉の音読 * 早口言葉の音読   ○早口言葉の思考  ○早口言葉の思考  ○本時のまとめ | ○児童が本時の学習課題を理解できるようにすると共に学習への意欲を高められるようにする。  ○　はじめはゆっくりと音読させることで児童がはっきりと発音できるようにする。  ○　早口言葉に慣れてきたら、だんだんとスピードを上げて調子よく読むことの出来るようにする。   * 上手くできている児童に早口言葉を上手に読むためのコツを発表させ、全体に共有できるようにする。 * 他に知っている早口言葉や言いにくい言葉があるか問いかけ、児童が言いにくい言葉を見つけられるようにする。必要であれば教師も言いにくい言葉の例を挙げる。 * プリントを用意しておき、児童が考えた早口言葉を記入できるようにする。   ○　隣の席同士でプリントを見せ合いながら早口言葉大会をする。  ◆　早口言葉に意欲的に取り組んでいる。  ◆　早口言葉の練習を通して文字と音節の関係に気付いている。   * 隣の人の早口言葉が難しかったか尋ね、隣の人の作った早口言葉を発表させる。 | 2′  6′  7′  10′  10′  5′  5′ |

**３　備考　在籍児童　34名**

**４　板書計画**

ことばをたのしもう

　か　はやくちことばに

ちょうせんしよう。

　いいにくいことば

　・きつつき

　・となりの　きゃくは

よく　かきくう　きゃくだ

　・パジャマ

　・あぶりかるび

　むずかしかったはやくちことば

　・きつつき　きを　つつき

　　　きに　きずを　つける

　・あおパジャマ　じゃまだけど

　　　じゃまじゃないあかぱじゃま

**５　プリント**

はやくちことば

　　　　　名まえ（　　　　）